

6 年	単 元 名	世界に向けて意見文を書こう（東京書籍上 6 年）
(教科)国語		

1. 単元の目標

- 原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。〔知識及び技能〕(2)ア
- 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ウ
- 「書くこと」において、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)エ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや願いを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

- 教科目標の達成のために必要と思われる図書資料を学校図書館や他の図書館から借りて準備する。
- 図書資料から自分の主張（考え）の根拠となる情報を選択し、その情報を活用して理由づけをしたり、文章の構成を考えたり整えたりして、説得力のある意見文を書くことができる力をつける。

3. 単元計画

全 8 時間（本時4/8）

1. 学習課題を確かめ、学習の見通しを持つ。〔1時間〕
2. フェアトレードとは何かについての考えを深め、フェアトレードに関する自分の考え(主張)に基づいて情報を収集する。〔2時間〕
3. 主張・理由・根拠についてピラミッドチャートを活用して考える。〔本時 1時間〕
4. 文章の構成を考える。〔1時間〕
5. 意見文を書く。〔1時間〕

4. 本時の授業の流れ

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1. 学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ピラミッドチャートを活用して、説得力のある意見文にするための根拠・理由・主張を考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてと流れを全体で確認する。 ・文例を比較して、説得力のある文章を書くためのポイントについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> A 主張だけがある文 B 主張と根拠だけがある文 C 主張と理由と根拠が結び付いている文 <p>2. ピラミッドチャートを活用し、主張・理由・根拠を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは中心となる自分の考え(主張)を決める。 ・主張を支える根拠となる事実やデータを選ぶ。 ・主張と根拠を結び付ける理由付けを考える。 <p>3. 作成した「ピラミッドチャート」をグループで読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み合う時間を設定し、説得力のある意見文にするために理由や根拠が効果的であるかという視点に基づいてアドバイスし合う。 <p>4. 本時の振り返りをして、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張・理由・根拠の結び付きの大切さを確認する。 ・次時は構成メモを作成していくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が選書した学校図書館の本や参考資料などから作成したブックリストを活用する。 ・ブックリストを基にして集めた情報から、自分の意見の根拠や理由となるような資料を選択することが説得力のある文章となる上でのポイントとなることを確認する。 <p>・主張と根拠とを結び付けるよりよい理由はないか、より説得力が高まるための根拠となる事実やデータはないか、などを考えさせる。その際、学校司書が選書したブックリストにある本を実際に教室内に並べて置き、いつでも探すことができるような環境を整えておく。</p>

5. 研究協議の記録及び考察（成果や課題等）

<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある意見文を書く上で「根拠・理由・主張」を明確にする学習活動が位置付けられていた。 ・単に根拠=情報を取り出して並べるだけでなく、理由=取り出した情報の解釈もきちんと加えることで、より主張に対する説得力が高まるということが意識されていた。 ・今回は思考ツールであるピラミッドチャートを活用し、「根拠・理由・主張」のつながりを視覚的にとらえやすいようにする工夫があった。 ・授業では困っている仲間に寄り添いながらグループで互いにアドバイスしている姿があった。 ・理由と根拠の区別が難しい実態もあったが、より説得力のある意見文を書くための工夫について、考えを深めることができていた。 ・意見に説得力を持たせるために根拠や理由を意識させることの大切さ、思考ツールはふだんから活用する経験を積むことが必要である。他の教科にもひろげていきたい。 ・グループで支え合って学ぶ協働的な学びの重要性を感じた。ふだんから「支え合う学び=互恵的な学び」のよさを感じさせていくことが今後の課題である。
--